

荒川地区地域活性化推進事業

「総合運動公園ホタルの里づくり実験事業」の進捗状況について

1. 事業概要

本事業は荒川地区地域活性化推進事業として荒川地区地域審議会からの提案により実施する事業である。

総合運動公園の「桜の谷」に、ホタルが生育できる環境を整備し、幼虫を放流する。ホタルが数多く飛ぶ公園づくりが実現できれば、「日本一の清流を育む豊かな自然」として、地域や農産物のイメージを高めることができ、総合運動公園にも新たな目的を創出することができる。また、取り組みが地区全体に広がっていけば、さらに効果的に環境の良さをPRできる。

2. 実施主体

村上市荒川支所地域振興課自治振興室

3. 実施期間

平成 26 年度～平成 28 年度の 3 カ年（実施期間中に事業の継続方法を検討）

4. 実施場所

グリーンパークあらかわ総合運動公園 桜の谷



5. 事業費

3 年を通して 50 万円の予算で実施する

6. 工程

別紙工程表による

7. 進捗状況

(1) 環境整備

整備前

桜の谷上流部



東屋付近



整備後



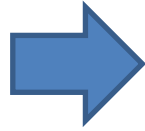
雑草・樹木・枝の刈り払い作業と水量安定のため水路整備を実施した。

(2) カワニナ (ホタル幼虫の餌) の生育実験

カワニナ放流前



カワニナの放流 (9 月)



12 月現在



(3) カワニナ（ホタル幼虫の餌）の採集と放流

切田集落などの農業用水路にいるカワニナを採集し、桜の谷に放流する。



(4) ホタル成虫の採集

上記の用水路では 6 月になるとホタルの成虫が飛翔し始めるので、虫取り網で雌・雄を採集する。

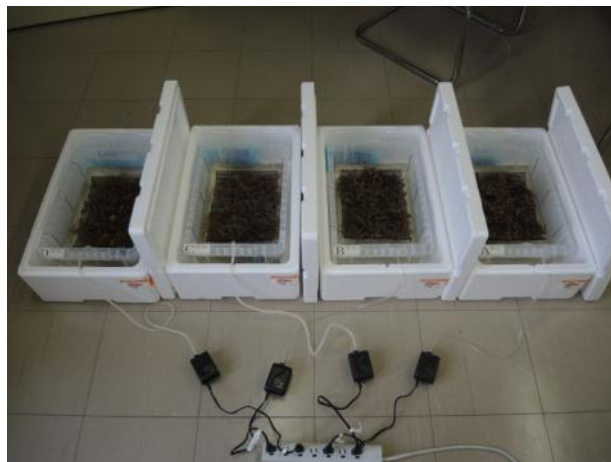
(5) 繁殖と幼虫の飼育

繁殖方法は、

- ① 桜の谷にネットを設置し、その中に成虫（雌・雄）を放して繁殖させる。



② 別の場所で、繁殖かご等の中で繁殖・産卵させ、水槽で幼虫を孵化させる



(6) 幼虫の放流

ホタルの幼虫

(写真はサンプル)



カワニナを餌にして幼虫が成長し… (写真はサンプル)



(5) ホタルの飛翔

写真はイメージ



※ホタルの生育環境を維持するためには、ある程度人が手を入れていかなければならず、取り組みを継続していかなければ、ホタルはまたいなくなってしまう。最初の 3 年間ではそれほど多くのホタル飛翔は期待できないので、その後も取り組みを継続していくための方法を地域の人たちを巻き込みながら検討していく必要がある。

ここで実験が成功すれば、鑑賞会などを実施して、各集落等に取り組みが広がっていくよう PR したい。

※草刈りなどの環境整備を行っただけで、様々な生き物が水路の周りに戻ってきて、食物連鎖や生態系を直に感じる事ができた。環境教育の側面でも効果が大きいと思われるので、子どもたちにも何らかの形で参加してもらえる仕組みを考えていきたい。